

平成31年4月定例教育委員会会議録

- 1. 開催日時 平成31年4月26日（金） 15時～17時23分
- 2. 開催場所 日野町役場 201会議室
- 3. 出席委員 今宿綾子教育長、山田めぐみ教育長職務代理者
高橋政宏委員、谷 信代委員、西村吉弘委員
- 4. 出席事務局員
 教育次長 ：望主 昭久
 学校教育課：参事 山添 美実 参事 柴田 和英
 生涯学習課：課長 吉澤 増穂 参事 加納 治夫
 図書館 ：館長 高浪 郁子
 子ども支援課：課長 宇田 達夫

今宿 教育長	<p>ただ今から日野町教育委員会定例会を開会します。</p> <p>(ごあいさつ)</p> <p>それでは、本日の定例会議を議事日程に基づき進行します。</p> <p>日程3の前回委員会の議事録の報告については、開催通知に同封いたしました議事録のとおりであり、委員各位においてご覧いただき、異なるところがあれば事務局までご連絡をお願いします。</p> <p>~~~~~</p> <p>日程4 事業経過報告 質疑</p>
今宿 教育長	<p>ただいまの経過報告につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
谷 委員	<p>図書館のビブリオバトルは毎月開催されていますか。</p>
高浪 館長	<p>2か月に一度、偶数月に開催しています。</p>
谷 委員	<p>この4名のうち、バトラーの方が今月3名というのは、毎回同じ方ですか。</p>
高浪 館長	<p>何度もご参加いただいている方で、3名のうち1名は図書館の職員でございます。ですので、身内な感じで今回は開催して、ただ、PRが遅れたというのを反省点にしておりましたので、次回はもっと早くから連絡等していきたいと思っております。</p>

西村 委員	<p>3点ほど、感想と発言をさせていただきたいと思います。</p> <p>第1点は、4月1日の辞令交付式ならびに宣誓式でございますが、今回、校長先生のご出席があつて、よかつたなと思います。あのよう一堂に会して、それぞれ新任の方また転入された方と、校長が全部揃つておられるというのは、大変よかつたと思います。これが第1点です。</p> <p>2点目は、4月15日に県教育委員会が主催されました重点施策説明会の感想ですけれども、従来に比べてわかりやすかつたなど、私の感じはいたします。教育長また次長、お二方も代わられまして、それぞれが簡潔に、その言わんとするところを埋められたなという感想で、非常に私にとってはわかりやすかつたということであります。</p> <p>その場からのご意見で感じましたのは、野洲市の西村教育長が働き方改革に対しましてご意見を述べられた。要は、現場はいろいろやらなくてはならないことがたくさんあるわけですけれども、そうした課題に対してもっと国は先生を増やしなさいと。そういった面での人を増やす、また、ある面では量も加減して、減らすものは減らすということで、働き方改革を推進しなきゃいかんということのご意見を述べられました。私もそのとおりだというふうに思ひまして、的確に意見を言っていたなと思います。</p> <p>もう1つは、「学ぶ力」向上の中で「読み解く力」です。お隣の竜王の甲津教育長さんがおっしゃっていましたが、単に読解力というだけではなくて、もっと多面的と言いますか、いろいろな状況を見ながら総合的な判断をやっていく力だというようなことで、もっとその辺を周知徹底していかないといかんというご意見を述べられたわけですけれども、私もAIの時代ということで、ベストセラーになりました著書などでは、読解力が足りないということで、問われた問いが、それが言わばきちんと理解できないというような状況があるということですね。そういうことに対して言われたのだと思いますが、今回、読解力というのが入ってきたことについては、よく現場でこなされて、きちんと子どもたち身に付くように、それぞれこれからまた研究を深めてやっていただかないといけないという思いをいたしました。これが2点目です。</p> <p>3点目は、卒業式・入学式、それぞれ出席をさせていただきまして、そこで教育委員会告辞というのを読ませていただきました。幼稚園の入学式はそれでいいのですが、入学式の小学校についてですが、2つ意見があります。保護者へのメッセージの部分、保護者へ訴える中身で、以前には、子どもたちが一日の学校生活を終えて家に帰ってきた時には、</p>
-------	--

<p>望主 次長</p>	<p>いろいろなお話をしたいことがいっぱいあるだろうと。それをよく聞いてやってくれというようなことが確かあったような気がするのですね、数年前に。私の記憶違いでしょうか。そういうようなことが必要ではないかなと思うのですね。</p> <p>特に小学校に入学してきた子どもが、新しい生活を始めるわけですから、「今日こういうことがあった」とか、親に訴えるとか、それを聞いてやってくれということ、かつてそういうような文句があったかなと思うのですが、なかったですかね、私の記憶違いかもわからんけど。</p> <p>もしもできれば、せっかく、教育委員会が学校の設置者としての公式の場での直接訴えかける場ですので、できるだけ具体的に、言えるところでは言った方が、家庭での教育とかいうこともありますから、やはり言った方がいいのと違うかなという思いですね。</p> <p>なんか、私の記憶違いかな、前にそういうことが入っていたかな。それは保護者へのメッセージで、できればそういうことを加えたらどうかという意見が1つです。もう1つは教職員への言葉のところに、21世紀を担う子どもたち、「21世紀を担う」という言葉があったと思うのですが、これは今から20年余り前の時はよく使ったのですけれども、「21世紀を目指して」とか、21世紀にふさわしいとか、今の時点で「21世紀を担う」という言葉は、ちょっと適切でないというか、古いと思うのです。「次の世代」とか、次の世代を担う子どもたちの成長のために先生方のそうしたお力添えが必要だと、こういうふうにしたらどうかと思います。</p> <p>21世紀にちょっと引っかかっていたのです。表現として、ちょっともう時代遅れというか、ちょっと今の時代にはふさわしくないです。細かいことでもないような気もするし、みんな聞いておられるのでね。というようなことで、一応私の意見を申し述べさせていただきました。よろしくをお願いします。</p> <p>今3点、西村委員さん、谷さんもお意見ありがとうございます。最後に西村委員さんから、卒業式・入学式の告辞のことについて、私も必佐小学校は教育委員さんが来られなかったのも、告辞を読ませていただいたので、ご意見をいただいたことはわかりました。またそのことにつきましては、時代に応じた適切な言葉・文言でメッセージを伝えることも大事ですので、そのことにつきましては検討させていただいて、より適切な言葉で、より身近な言葉で、子どもたちに訴えかけられるようなことをまた考えていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
--------------	--

今宿 教育長	ありがとうございました。
山田 委員	<p>4月23日にふるさと絆支援員の委嘱式があったそうで、そこでお話しされた内容を教えていただけたらと思いますし、あともう1点、少し前に中学校が学校支援員ボランティアさん募集という広告を配られたと思うのですが、だいぶ困っておられるような感じを受けますけど、2年前に長野県の下諏訪に研修に行かせてもらった時には、公民館の連携がうまくいってまして、うちもそのような公民館の力でこの支援員さん、こういう得意な人がいらっしゃるよというのがご紹介できたら、やりやすくなるのかなと思うのですけれども、どうでしょうか。</p>
山添 参事	<p>ふるさと絆支援員の方への委嘱式では、地域・学校協働活動推進事業の概要について、まず説明させていただきました。ここに参加いただいたのは、愛称で呼ばせていただいています絆支援員さんの方々と、各学校の教頭先生方が集まっていたわけですね。小学校では3年目、中学校では2年目を終えて、こういう活動ができたというところで、絆支援員さんも次の年に向かおうという意欲に燃えて、説明をうなずきながら聞いていただきました。</p> <p>その中で、学校から協力してほしいとかいうだけではなくて地域の方々からの、こんなことをやりたい、こんなことに協力してみたいという声が反映できたり、1年を振り返った時にアンケートを取って、みんなの思いが吸い上げられました。子どもたちも地域の方々にもいろいろ支援してもらって、一緒に勉強ができたことを、とても感謝しているということが何かの発表の折に出るとかいうようなことで、様々経験をされた話をしていただきました。</p> <p>ワンステップアップして、31年度取り組んでいきたいということもおっしゃっていました。中学校では、1年間の事業の見通しを立て、今年は主に町立図書館に協力いただいて、読書のところで学年テーマを持って取り組んでいきたいと、とっても意欲的な話を聞かせていただきました。私の方からは以上です。</p>
加納 参事	<p>昨年度、公民館の主事さんとふるさと絆支援員さんの交流、意見交換会を8月にさせていただきました。その時に公民館の中で活躍いただいている講師の先生で、地域の方を主にリストアップさせてもらって、情報提供させてもらって、もし使っていただけるのでしたらどうぞ、公民</p>

高浪 館長	<p>館を通じて連絡を取らせてもらうようにということで、情報提供はさせていただきます。</p> <p>私の感想としては、学校の要望の中でふるさと絆支援員さんを通じて地区の方をつなぐのと、公民館と、若干違う感じがしました。学校は学校かなということで、長野県の事業は私はよく存じてないので、もうちょっと勉強させてもらって、もう少し公民館とのつながりもあるかなというふうには思っております。</p> <p>去年の交流会を起点に、毎月というか、学期ごとに1回寄ったらいいのと違うかというようなことは、去年はできてなかったので、今年度は日を決めて、学期の終わりぐらいに、今期の反省と次の学期についてということで、支援員さんの意見をお伺いしようということで、今我々も入ってお話を聞いてということで計画をさせてもらっています。</p> <p>つい一昨日ぐらいに町田先生が見えまして、今年度こういう形でしたということで紙を持って来られまして、1・2年生は毎週火曜日に読み聞かせを朝の読書の時間でボランティアさんにしてほしいというようなお考えのようで、ボランティアをしてくれる団体の方を紹介してほしいと。2年生は読み聞かせの時間のほかに、「ブックトーク」にチャレンジしたいと思うので、誰か指導者を紹介してほしい。これは秋口からやりたいということでした。3年生につきましては、秋口にビブリオバトルをしたいから、指導者を紹介してほしいと。その前に研修とかいろいろ準備をしながらしたいと言っていたいただきましたので、急にきていただいたのでびっくりしながら、また教頭先生にもお話を伺いながら、協力しながら進めていけたらなと思っております。</p>
山田 委員	<p>ありがとうございます。意欲的な方向で向いているとお聞きしたので、安心しました。</p> <p>あと、中学校も私が思っていたよりもいろいろ計画されていて、話が聞いてなかったので、いい方向に向いていて、安心しました。</p>
今宿 委員長	<p>ありがとうございます。</p>
高浪 館長	<p>中学校はつい今週に入ってからあったので、たぶんまだどなたもご存じないと思います。</p>
今宿 教育長	<p>何ができるか趣旨をしっかりと理解してもらうということや積極的な</p>

<p>谷 委員</p>	<p>気持ちが大事です。この取り組みを始めた当初は、「ふるさと絆って、何それ？」というような感じで周知できていないことが1年目はありましたけれども、段々に皆さんも理解してくださるようになりました。</p> <p>定期的に公民館主事さんと交流したり情報交換したりして、そういう中でできる事は見つかってくると思います。教材を開発・発掘したり、人を探したり、人材育成したりしながら、子どもたちも学校も、また地域もともに双方向で、どちらも元気、いい関係になればと思います。ありがとうございます。</p> <p>支援学級、小学校・中学校・幼稚園も順調にスタートを切ったようで、ひとまず安堵しているのですけれども、特に必佐と南比の小学校では、肢体不自由児学級が新しくできたと思います。4月から3週間ほど経って、特に何か滞っているというか、問題になっていることはないのでしょうか。</p>
<p>山添 参事</p>	<p>今、谷委員さんから出していただいた内容ですが、それぞれの担任の先生が決まり、チーム体制をとっていただいで順調に進めていただいでいます。</p> <p>進めていくうちに、こんなことが必要だなとかいうことも聞くかも知れませんが、また対応していきたいと考えます。以上です。</p>
<p>谷 委員</p>	<p>もう1つ、学校で働き方改革の一環で、朝の7時半から夜7時の間に留守番電話に切り替えたことで、先生方のご負担がかなり軽減されたということはあるのでしょうか。</p> <p>反対に、電話がこちらの役場の方にじゃんじゃん鳴っているとか。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>4月はどうかと心配をしていたのですけれども、具体的にはどうでしたか。</p>
<p>山添 参事</p>	<p>導入をした時に一番心配したのは、保護者の方がすぐに連絡をしたいのだけれども、通じないので困るということがないだろうかということでした。お手紙の内容としては、子どもさんの命にかかわるようなことが起こった場合にはご連絡くださいと記述していますので、よく読んでいただいで、対応していただいでいるのかなと思います。</p> <p>教員に負担に関しましては、時間外の電話対応をするということで、すぐに効果が上がったということはないかも知れませんが、導入によっ</p>

	て働き方を見直すということで、いろいろ考えていきたいと思います。
今宿 教育長	ありがとうございます。
谷 委員	クラブ活動を休みたいとか、そういうのはどうしたらいいのですか。
今宿 教育長	学校とかクラブの中で誰かに言づけるなど整理したらどうだろうという意見もありました。
山添 参事	スクールメールというか、部活動でそのメールを活用されているという話を聞かせてもらいました。あとは、土日とかは時間外になっているので、休むという場合はそのようなメールを使うとか、あとは教育長がおっしゃったように、同じ部活の友だちに連絡するという形を学校の方でとっていただいていると思うのですが、教育委員さんにこんなことを聞くのも何なんです、何かお子さんが言っておられましたか。こんなことを聞いたよとか。
今宿 委員長	ラインでグループをつくって連絡し合うということについては、光と影の部分があって、便利な面もありますが、トラブルの原因となることもありましたので、学校ではライン連絡というのは現在はされていません。それ以外の方法について考えてもらっているところです。
	~~~~~
	<b>日程5 議第20号</b>
今宿 教育長	提案説明、以上でございます。ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。
	提案に説明に対しまして、ご質問等ございませんでしょうか。
谷 委員	職名のところの特別支援コーディネーターというのは、何かそういう資格というのでしょうか、当たるのですか。
今宿 教育長	どういう人なのかということですね。説明をお願いします。
山添 参事	資格ということではなくて、分掌の名前ということです。仕事内容というのは、特別支援の必要なお子さんの学習環境とか学習内容を、どのようなものがふさわしいかということ、関係機関と連携したりとか、

<p>谷 委員</p>	<p>保護者さんの思いを学校とか関係機関とつなぐというような役割を主に果たしていただいています。</p> <p>また特別支援コーディネーターについては学校に2名配置するというふうになっております。</p> <p>ありがとうございました。わかりました。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>前回でしたか、その前の時にもお話をさせてもらったかと思いますが、これまでの就学指導委員会から支援委員会という名前に変えるというところで、ずいぶん議論をさせていただきました。支援という意味もここにあがっておられる先生方各々の方、十分内容を承知していただいていると思うわけですが、この中で最終的にどの方がまとめる仕組みに今はなっていますか。教えてください。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>会長と副会長を選出させていただきます。また、グループをつくりまして、それぞれの適正な就学について、検査や、また直接、学校や園に出向いての観察など、一定期間の中で様子を見させていただき総合して、対象の子どもさんお一人おひとりの様子と、その就学先についてまとめていただきます。</p> <p>さらにそれを全体の場で協議をし、また各学校・幼稚園等先生からは専門的な意見をいただき議論を通して、最終ふさわしい就学先について答申を出していただくという、流れになります。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>ほか、よろしいでしょうか。</p> <p>~~~~~</p>
	<p><b>日程5 議第21号</b></p> <p>質疑なし</p> <p>~~~~~</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p><b>日程5 議第22号</b></p> <p>以上、提案説明をさせていただきましたが、ご質問等ございましたらお話いただきたいと思います。</p>



高橋 委員	今初めて「社会教育活動補助金交付要綱」を見せてもらった感じがするのですが、今回初めて出してもらったのですか。
吉澤 課長	1枚目にも書かせていただいています、この補助金要綱につきましては、平成19年に制定をしております補助金要綱でございます。このタイミングは、公民館の職員を地区雇用とした時期であり、新たにその部分を含めた補助金要綱にして制定したものでございますので、以前からあったものでございます。
高橋 委員	だから初めて見るのですね。私は曖昧なんです。
吉澤 課長	すべての要綱を委員の皆様方にお出しするということはしておりませんので、その都度、改正等があった時にご覧いただいているという状況でございます。前は平成26年4月に改正をしておりますので、そのタイミングより委員の就任があとの方につきましては、この部分を見ていただいていることはなかったのかも知れません。
高橋 委員	追加ですが、実は私の地域の主事さんですね。というか、もともと行政の中では公民館を運営にするにあたって、従前の町の雇用から地域で物事をするための原動力になるというか、館長さんはおられますけれど、実質の運転をしていただくための人材さんを、地域から出すという概念で進めてこられたと思うのですが、今日に至る経過の中でなかなかそれが見つかりにくい、今後もそうかなと思ったりするのですが、西桜谷の場合ですと、いろいろ途中の話は聞いているわけですけど、最終的には西桜谷公民館の場合は町雇用になったんですよね。ですから、そういうことが、地区雇用でされているところは今どこになるのかな、あると思うのですが、そういう地区雇用、それから町の職員さんとのかわりによって、初回教育活動補助金交付要綱の別表の積算していった時の数字、これも今後はまた変わっていくということはあるのかなと思いますが、どうですか。
吉澤 課長	公民館の職員について、地区雇用が変わったという部分は、総合計画の中で「公民館を核としたまちづくり」ということで、公民館にいろいろな力を発揮していただくために、地域の力を発揮していただくという考え方によりすすめられたものです。

	<p>その後の経過の中で、公民館の主事、施設管理人について、地域雇用がなかなか難しいなどの理由もありまして、町雇用に戻ってきています。現在ですと、日野地区・東桜谷地区・西桜谷地区の公民館主事は町雇用になってございます。施設管理人につきましても、日野公民館・東桜谷公民館がこの4月からは町雇用になったところでございます。</p> <p>当然、その人件費に関わる公民館活動に対する補助金につきましても、一定の見直しはその都度していく必要があると考えておりますので、そのことについては十分考慮した中で、今後やっていきたいと考えております。</p>
高橋 委員	<p>せっかく見せていただいたので、教えてください。2枚目、必佐地区が1.5人という数字になっていますが、この根拠はどこにあるのですか。</p>
吉澤 課長	<p>その次の行の※印にございますように、平成18年度地区公民館の職員数を基準とする。ということで、その当時の公民館活動での人の状況、雇用の状況が、人口規模の大きい日野地区2名、そのほかについては1名でございましたが、必佐地区につきましては地区雇用ではありましたが、人口規模的に日野に次いで大きな地区でございましたので、その方の分について半分を町が負担していたという経過がございましたので、ここについては1.5人という表記でさせていただいているところでございます。</p>
高橋 委員	<p>今のお話によると、一番人口が多いのが日野、ほかは1人で、必佐が次いで人数が多いので1.5人にしているということの理屈は、住民が何人とか、そういうのでいっておられるわけですか。</p> <p>これまでの経緯の中で、引き続いて踏襲しているということの方が強いのですか。</p>
吉澤 課長	<p>言い方として人口規模という言い方を申し上げたところでございますが、その当時の経過の中で、町として費用負担をしていた部分が1.5人分という状況でございましたので、引き継いだということの方が表現として正しいと思いますので、訂正させていただきます。</p>
高橋 委員	<p>わかりました。</p>

今宿 教育長	<p>ありがとうございます。ほか、ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>~~~~~</p>
今宿 教育長	<p><b>日程5 報第5号</b></p> <p>以上、提案説明がございました。ご質問がございましたら、お出しいただきたいと思います。</p>
高橋 委員	<p>この方もいろいろご病気のように、療養されて早く復帰されることを願っているわけですが、定例教育委員会の中で、分限処分等々、いろいろなレベルがありますけれど、こういうふうに事細かにして、文字化して、そして出るということは、ホームページにあがるわけですね。</p> <p>私はこれまでから思っているのですけれど、最終的には公開にあがるわけですが、こういった職員の処分とか、こういう部分は口頭で言ってもらえるか、あるいは最終的には非公開にするとか、そういう教育委員会の対応は、これは私だけの思いですけれど、そういう形は理屈に合いませんか。</p>
望主 次長	<p>ありがとうございます。個人のことということもございますが、教育委員会はもともと公開ということで、申し込んでいただければ傍聴席を設置させていただいて、傍聴もしていただくということですので、口頭であれ何であれ、報告ということでは、公のところで知らしめるということになりますので、基本的には、議会の方でも報告は報告でペーパーで出しておりますので、同じような扱いということで私どもとしては考えているところでございます。</p> <p>一日も早く復帰できればこういうことはないのですが、規定ということでさせていただいているところでございますので、ご理解いただければありがたいと思います。</p>
高橋 委員	<p>わかりました。</p>
今宿 教育長	<p>ありがとうございます。</p>
今宿 教育長	<p><b>日程6 今後の予定</b></p> <p>以上、今後の予定の説明が終わりました。ご質問等ございましたらお出しいただきたいと思います。</p>

高橋 委員	<p>今縷々説明いただきまして、ありがとうございます。思いつきみたいなことでお聞きして申し訳ないですが、2つお聞きしたいのですが、1つ目は、最近、園児とか小学校とか中学校のPTA総会の出席率、そのあたりはどのようなことでしょうか。あわせて、校長先生などが保護者の方から質問とかいろいろあった場合に、お困りになるような質問などはないでしょうか。これが1点目です。</p> <p>2点目は、先ほど私は生涯学習課の方で人権関係の日程のことをお聞きしていたのですが、人権関係のことは町長部局になるので、この中には入ってこないわけですね。そういう理解の仕方でもいいわけですね。</p>
加納 参事	<p>人権の活動をさせてもらっているのですが、この表をつくったあとで代表者会の日程を決めてきたので、すみません、載せられていません。</p>
高橋 委員	<p>代表者会云々だけではなくて、地域で人権推進会議とかいろいろあるでしょう。これは、所轄は町長部局ですか。生涯学習課ですか。</p>
吉澤 課長	<p>町の人権施策先般にわたっては企画振興課で対応しておりますが、人権教育という分野につきましては、教育委員会が所掌した中で事務を行っております。人権啓発推進協議会、人権啓発推進連絡協議会などの活動については教育委員会の所掌によるものでございます。</p>
加納 委員	<p>大きな事業、例えば研修会とか町の一般的な人権教育研修会とかいうのは、この事業の中で載せさせてもらいますけれども、個々の小さな会議とかについては載っては来ないので、大変申し訳ないと思います。</p>
高橋 委員	<p>ありがとうございます。</p>
宇田 課長	<p>幼稚園・子ども園の部分では、総会はほぼ100%の出席率ということで、今聞いているところでは穏やかな感じでした。</p>
山添 参事	<p>23日に日野小学校と南比都佐小学校を終えたところです。学習参観には子どもの様子に関心を持って見に来ていただいています。総会にしましては委任状を出していただくという形で成立していますが、委任状の数もかなり増えているということです。</p>

今宿 教育長	保護者さんとしてはどんな感じですか。西大路は明日でしたね。南比都佐は？
谷 委員	南比都佐小学校は、保護者さん皆さん熱心で、この間の参観日はほぼご出席されていたように思います。質問というのは特に、皆さん、書類をひたすらじっと熱心に見つめて、校長先生やPTA会長さんのお話を熱心に聞いていらっしゃる。特に「質問ございませんか」についても、手が挙がることは今回はほぼなかったですね。わりと
山添 参事	参観のあと総会、それから学級懇談会という順番ですので、学級懇談会はほとんど出てくださいます。総会の参加が少ないなという声もきかれますが、いろいろな発信をしていく大事な機会と考えて皆さんに集まっていただくよう、各学校いろいろ工夫していただいています。
高橋 委員	それはいいですね。私の経験では、総会が始まる前の1秒くらい前に、保護者の方が手を挙げられまして、国家レベルの問題について校長としての見識を問う、そういうことがあってちょっと困った時もあるって、そういう経験をしまして、そういうものがあるのかなと思いましたので、お聞きただけでございます。
谷 委員	明日は西大路小学校の参観とPTAの総会、振り替えをしてまで土曜日に持ってきたというのは、何か理由があったのでしょうか。平日ではなく。
山添 参事	<p>西大路小学校に私も3年間おりましたので、その時の保護者さんの熱い思いが、土曜日に開催されるというところに反映されているかなと思います。私の印象では、西大路小学校の参加は、ご家族で来られるというように思います。</p> <p>普段は学校に平日だと来られないお家の方も一緒に参加できるというので、土曜日や祝日などを活用して、子どもたちの様子を地域も含めて多くのみんなで見ていこうというような意図があったと聞いており、今年も開催されると聞かせていただいています。</p>
谷 委員	では、今年だけではなくて、頻繁に、年によってはという感じですか。

山添 参事	もう5年以上、6年とかそれぐらい前からになると思います。
谷 委員	ずっと土曜日開催ですか。
山添 参事	土曜日や祝日を活用しておられます。
谷 委員	ありがとうございます。
西村 委員	<p>ちょっと話題が変わるかもわからないのですが、マスコミ報道ですけれども、文部科学省が昨年の秋に全国の小・中・高に放射線副読本というのを学校を通じて児童生徒に渡されたと。これは日野も渡しておられるということですね。</p> <p>昨日の新聞、今朝の新聞も2日にわたってこの件が報道されているのですけれども、今のところ特にそういう、保護者からの連絡とか、そういうことはありますか。</p>
山添 参事	今の西村委員さんのご質問ですけれども、特に質問というのはございません。
西村 委員	私も新聞報道だけではよくわからないこともありますので、できましたら副読本を、もしお手元があればお借りして読ませていただきたいというのが希望でございます。
今宿 教育長	<p>今持ってきますので、ご覧いただきたいと思います。</p> <p>「30年9月 文部科学省」と書いてある国から届けられた副読本であります。東日本大震災のあと、放射線についての教育はどうかということが話題になりましたので、それをきっかけにしてこのような副読本が作成されています。</p> <p>1章と2章に分かれていまして、1章は「放射線とはどんなものか」ということ、2章については「原子力発電所の事故と復興のあゆみ」というタイトルです。その中には、避難している子どもたちがいじめに遭ったりとか、そういうこともページを割いてあるものです。昨日の京都新聞の記事では、被災者の思いが十分記述されていないということで、配布したものを一旦回収して、再度使い方について検討すると野洲市教育委員会の対応が報道されていました。町内の各学校の取り組みについては、副読本の中で指導が必要なものについては、それに必要な教材をあ</p>

<p>西村 委員</p>	<p>わけて補充していくという形を町では考えているところです。</p> <p>今日の京都新聞には、このことに対する山仲市長さんの見解が記事として出ていたということでございます。発端は議会の質問のようでございますが、日野町においてもこの冊子に関する教育委員会としての見解を聞かれるということもあるかもわかりませんし、こうして報道されますと、それなりにこういうふうに指導していくという基本的なところは明確にしておく必要があるということですね。今おっしゃっていただきましたことで了解いただきました。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>22 ページくらいの内容の副読本ですので、まだまだ、いろいろな立場の考え方など十分に書き込めてないところはもちろんあると思います。国から送られてきたものですから配付をしましたが、使い方については必要ところは補充、補填をしながら「放射能教育」をすすめていく必要があると考えています。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>では、この本はお借りして読ませていただきます。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>今の副読本に関しては、私の記憶上でいくと、国から一番初めに出したものは全くダメで、回収されたのかな。そのあといろいろ議論があって、もちろんそこには研究者が入って、私も現職の時にそういう会議にも出たことがあるのですが、今のもの、小学生、要するにこの本は、放射線というのはどういうものかということがあります。</p> <p>大きく言うと、国が出しているこういうものと、もう一つ民間の研究団体が出しているものがあります。それは立場が違うのですね。書きぶりも違いますし。今言われているのは、自然界にも放射線はたくさんあります。どこまでだったらよいか、そういう議論は研究者団体から今、学校現場・教育のレベルによろやく来つつあるのかなというところがあります。ただ、これは福島原発の問題に関わって、被災された皆さんの思いとか、そういうものが少ないと言いますか、そういうところに軸足を置いて書かれたものではないわけでありますので、たぶん、その市ではそういう結論をされたのではなかろうかなと思います。</p> <p>小学生が読むにしましても、難しい。目に見えないものですし、これを読んでも、もっと、広い言い方をすると、10・11 ページ、放射線被ばくの早見表があるのですが、簡単に言うと、教えてもらう学校の先生にも一定の、例えば滋賀県だったら滋賀県教育委員会主催でこの研修</p>

<p>今宿 教育長</p>	<p>会とかがあるとよいのになど以前から思っていましたけれども、なかったように私は思っています。なかなかそういうことを秀でてされる方がないと言いましょうか、難しいだろうなと思っています。</p> <p>大震災のあと、原発の事故や放射能が話題になりました。まずは放射線というのは何かということを知るということは必要なことであります。また被災者の方や子どもたちへの思いと関わり、復興への願いを根底に持ちながら、日本で大変な事故が起こり、しっかりと復興していこうという取組みや願いを伝えていくことが必要であります。</p> <p>それにつきましては具体的な取り組みについて、またお答えできたらと思っています。</p> <p>~~~~~</p> <p><b>日程 7 その他</b></p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>今聞き逃しました。教えてほしい点があるのですが、2番目の教育総合会議は結局、6月26日または28日に組み込んでするということですね。わかりました。</p> <p>1番目のところ、ここによい表があって、去年もあったのだらうと思うのですが、去年はお聞きしたかったのですが、チャンスを逃しました。別に文句を言うわけではございません。事務局体制のところ、職名の付け方と言いましょうか、教育次長さんは課長さんであって、次長事務取扱、よくわかります。参事さんとかあるわけですが、古い話をして申し訳ないのですが、私がここに置いていただいた次の時に指導主事を1名置いていただきました。課長補佐とかいう名称は、市長部局とか知事部局とか、そういう行政サイドの職名の付け方かなど以前から思っていて、本町でもはじめは、この方は指導主事ですか。県費の。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>そうです。内容的には。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>ですね。私個人としては、指導主事とした方が、学校教育課はずいぶん昔と比べたら充実してしまして、非常にありがたいなと思っているのですが、その指導主事とかいう、それはどういうふうにお考えですか、今。</p>



望主 次長	仕事については、確かに指導主事ということではいただいているのですが、役場の行政組織の中の職名の中に、課長であったり参事であったり、そういうものがあるのですが、その職名が今ないので、そのことについては山添先生についても指導主事・参事職ということで、役場の行政組織の中の職名が参事ということで、ここはあくまでも職名でさせていただきますので、課長補佐級の山中先生、参事級の山添先生ということしております。所長という職名はあるのですが、教育指導主事というのはいないです。
高橋 委員	古い話で申し訳ないですけど、私などがいた頃とは違うのですね。ぶっちゃけたことを言うと、桜谷小学校の校長先生は、指導主事であったのだですよ。それまでは指導主事はなかったのですね。
今宿 教育長	北崎先生はどんな役職でしたか。
望主 次長	あの時はたぶん、課長級と違ったのでは。
高橋 委員	3級と2級の違いだけでしょうか？
山添 参事	北崎先生は2級でしたので、課長補佐ではないと思います。
高橋 委員	そうすると、それと合わないからか。
望主 次長	管理職の職名に合わないのですね。教頭職は学校の管理職さん、校長先生も学校の管理職さん、それが行政に来ると課長・参事・課長補佐と。北崎先生は24年度くらいにいただきましたのですね。
今宿 教育長	ここに上がるとしたら、もし武久先生なら主任となりますね。内容的には、山中先生も山添先生も指導主事のようなことをしてくださっています。
吉澤 課長	山中先生も山添先生も町費、今、町の職員としての雇用になっています。
望主 次長	今は全部町費ですね。

高橋 委員	今は町費の先生は何人おられますか。
望主 次長	2人ですね。19年から今の。
吉澤 課長	町の職員でないので、カッコ書きでこちらに載っているという職員の充て方ですね。
高橋 委員	もう1人だけ、どんなお仕事されているのかお聞きしたいのですが、北川昌美先生、教育指導員、これは職名ですか。
望主 次長	職名というか、今やっておられる業務の名前です。
高橋 委員	嘱託職員になりますよね。私が聞きたいのは、去年もそういう立場の先生がおいでになりましたね。たぶん1年間でこうなる仕組みが取られているのだろうと私は思っているのですけれども、どんなお仕事をされているのですか。
望主 次長	北川先生につきましては、町内の新任教員、若手教員、2～5年目までの教師の指導もされていますし、今年度につきましては適応指導教室について担当していただこうと思っています。適応指導教室は再開という位置づけでございますので、それを今年の後半には開けたらなど、その担当をしていただこうと思っております。
高橋 委員	今、適応指導教室の話が出ましたが、過去にはありましたか。
今宿 教育長	教育相談センターで赤尾先生が、相談業務と加えて指導もしていただいていたことがあったのですけれども、
高橋 委員	それを明確にするために適応指導教室を今年は立ち上げられたわけですか。
今宿 教育長	そうです。
望主 次長	予算の時も目玉事業みたいに言いましたが、70万円という人件費だけです。

高橋 委員	いや、形は大事ですからね。
望主 次長	場所もまだ決まってない、陣容も決まってない。北川先生は来ていただいているのですが、個別に指導をしていただく、またそういう臨時の方であるとか、教職員OBの方とか、そのへんのところについてもしっかり組織立ててしないといけないところです。予算 70 万円では大見得を切って再開とは言えないのですが、そういう体制を今後していきたいので、町として口開けということです。
高橋 委員	その教室はどこですか。
望主 次長	まだ場所は決まってないです。これからです。どこが適切な場所なのかを決めて、教育相談センターとも綿密に調整をしながらすすめていきたい。
高橋 委員	わかりました。ありがとうございました。
今宿 教育長	今後の予定について、山添参事より説明をお願いします。
山添 参事	8月の定例教育委員会の日を決定させていただきたいのです。昨日、第3採択地区協議会の事務局会をいたしまして、8月の定例教育委員会で平成32年度使用小学校教科書全部の採択を行っていただく日を、2市2町が同日開催という取り決めをいたしておりまして、その日が8月23日（金）でよろしくお願いいたしたいと思います。
山添 参事	ブロックの初日が5月16日です。2回目が8月19日です。よろしくをお願いします。
今宿 教育長	8月19日は終日です。
高橋 委員	8月23日はほぼこれで内定していますよというか、これでいきますよと、来てくださいますよと。
今宿 教育長	前は傍聴がありましたね。
高橋 委員	傍聴はあると思っておいた方がいいと思いますよ。

<p>今宿 教育長</p>	<p>考えておく必要がありますね。よろしくお願ひします。</p> <p>以上でございます。ほかに各課から連絡事項等ありませんでしょうか。また委員さんから何かその他でございましたらお出しいただきたいと思ひます。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>1つだけお聞きしたいと思ひます。たぶん、前年度の校園、小中学校ともPTAの方々も要望等々もあったかと思ひますが、通学路の危険箇所への対応などは、もう今年度進むような状態になっていますか。</p>
<p>望主 次長</p>	<p>一昨日、県道の管理者、町道の管理者、農道の管理者、そして学校、小学校については日野と必佐と西大路の小学校を警察の立ち会ひで通学路の安全点検ということ、アドバイザーも来ていただひいて、そのメンバーで危険箇所を確認もさせていただひいています。毎年1回隔年で、小学校をずっと回っていくというのと、PTAさんが日野小学校であったり南比都佐小学校・必佐小学校は、個別にPTAさんから通学路の改修要望などを頂戴して、それについてお答えをさせていただひいています。中学校も同様です。</p> <p>そのことを受けまして、各県道なり町道なりの道路管理者へ、こういう要望が出ていますということで修繕要望などをさせていただひいています。すべてがすべて、予算の関係でできることはないのですが、できる範囲の中で修繕等、補修工事をやっただひいています。警察につきましては公安委員会で、横断歩道や停止線であったり、そういう規制に係る白線等についてはできる範囲で引いただひいているということです。それぞれに結果まではまとめておらないのですが、すべて聞いたことについては道路サイドの方に流して、警察にも流して、そして対応していただひいています。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>ありがとうございます。もう1点だけ、もう終わりますので。語弊のある言い方かも知れませんが、今、日野町では、教育ではないわけですが、町として危機管理の問題が問われていると思ひますね。新聞でも報道されていますけれども、あの事案を学校教育に置き換えるとしたら、報道を読んだ時にこれは本当に、ああいうことは学校の行事の中ではまずないと思ひますけれど。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>民泊ですね。</p>

高橋 委員	<p>そうそう、広い意味で危機管理の問題があると私は思っております。やはり学校・園も含めまして、子どもを預かっているということですので、また適宜、我々も含めて危機管理の研修などもまた入れていただくとありがたいかなと思います。我々も忘れがちになりますので、入れていただくとありがたいなと思っております。以上でございます。</p>
望主 次長	<p>ちょうどこのタイミングで日野中学校の生徒も長崎の方で民泊、漁村で体験をしているということで、プログラムはいったいどうなのかということもたぶん学校でいろいろ問題になりますので、今のことについてはしっかり受け止めて、危機管理を含めてしていかないといけないと思っておりますので、また校長会等も来月にありますので、その場でも協議していかなければならないと思っておりますので、ありがとうございます。</p>
今宿 教育長	<p>詳しい全容はまだわからない状態ですけれども、一日も早い回復を祈っております。</p> <p>このことを教訓として、活動をしている側として考えると、日野中学校は長崎で民泊、漁業体験をさせてもらっています。あくまでも修学旅行というのは学校が主体になりますので、民泊の中にそれぞれグループに分かれていろいろな活動をしているのですけれども、どのようなねらいがあって、どのような活動を生徒たちはしているのか、授業の一環として何がされているのかということを中心に学校は把握している必要があります。その中で、危険なことや、本来のねらいにそわないものはしてはいけないことでもあります。</p> <p>一番いけないのは、その活動をわからないまま民泊の方に丸投げしてしまうということです。リピートするとついつい例年どおりお任せというふうな感覚に陥ってしまいますので、もう一度気を引き締めて安全面について考えていこうということで確認しました。でも本当に、怪我された生徒さんは一日も早く良くなれることを今は祈っているところです。</p>
今宿 教育長	<p>ほかによろしいでしょうか。</p> <p>以上で定例会を終了させていただきます。</p>

